令和3年度(2

## 自動車アセスメントロードマップ 2022改訂(案)

				2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	予防·衝突等総合安全性能			2020年度~						
より安全な自動車の普及対策		被害軽減ブレー キ	対車両	義務化に伴う評価方法検討						
	予 防		対歩行者(昼間)		<u> </u>					
			対歩行者(夜間・街灯あり)			•				
			対歩行者(夜間・街灯なし)							
			対自転車	予備試験						
	安		交差点	試験·評価方法検	討/予備試験	予備試験				
	全	高機能走行用前照灯		2019年度~	1					
	性	ペダル踏み間違い時加速抑制装置		試験·評価方法再検討	予備試験					
		車両後方視界情報提供装置				評価廃止				
	能	車線逸脱警報装置·車線逸脱抑制装置		逸脱警報装置2014年度~	逸脱抑制装置2018年度	~				
	評価	その他運転支援技術(被害軽減ブレーキ[後退 時歩行者]、被害軽減ブレーキ[対向車]、V2X 等)		追加新規項	目検討	調査・研究 (追加項目)	試験・評価方法検討 (追加項目)	予備試験 (追加項目)		
		予防安全性能評価全体の総合的な安全性能		普及期の評価方法から競争期の評価方法への変更検討			· · · · · ·			
				新規項目導入の際の 評価(考え方)の検討						
	衝突安全性	乗員保護	前 面 (フルラップ)							
			前 面 (オフセット)	同面 (MPDB	)と併せて試験・評価法事	<b></b>				
			前面 (MPDB(含THORダミー))	試験·評価方法検討/予備試験		予備試験				
			側面	1999年度~						
			後面頚部保護	2009年度~						
			助手席・後席 シートベルトリマインダ	2011年度~						
	能	步行者保護	頭部	2003年度~						
	評	少门有休琏	脚部	調査・研究 (aPLI)	試験・評価方法検討 (aPLI)	予備試験				
	価	その他衝突安全技術(スモールオーバラップ、 後席の頚部保護、ファーサイド側突等)		追加新規項目検討		調查·研究 (追加項目)	試験•評価方法検討 (追加項目)	予備試験 (追加項目)		
		衝突安全性能評価全体の総合的な安全性能				I	1 1			
	事故後被 害軽減性 能評価	<sup>後被</sup> 載性 ───────────────────────────────────		2018年度~		調査・研究 (次世代)	試験·評価方法検討 (次世代)	予備試験 (次世代)		
	CRS安 全性能	前面衝突時安全性能				·				
より安全な CRSの普及	全性能 評価	* 使用性								
対策	啓 発			i-size対応CRS等 普及方策の検討						

※1 文字色 赤字:前回ロードマップに追記、または変更したもの。

 ※2 セル色 水色:新規試験項目の調査・研究等、緑色:評価(実施済、実施予定、変更予定を含む)、白:未対応
※3 見直し対象の項目を検討するサイクルは、基本 | 見直し対象項目・スケジュール検討→試験・評価方法見直し検討→試験・評価 方法変更」という3年単位で行うものとする。
※4 適宜見直しを行うため変更があり得る。